

市数研だより

平成15年6月23日発行

no.1

熊本市中学校数学教育研究会

平成15年度がスタートし、もう2ヶ月半たちました。今年の市数研も動き出しました。ご存じの方も多いことかと思いますが、平成16年度は熊本県中学校数学研究大会が、そして平成18年度には九州中学校数学研究大会がそれぞれ熊本市で開催されます。

熊本県の数学教育研究をリードする市数研、そして九州の数学教育研究をリードする市数研のパワーを披露する良い機会がまた巡ってきました。

会員の先生方、知恵と力を結集して、がんばっていきましょう。

第1回定例会の報道です

今年度第1回の市数研定例会が、6月12日(木)、藤園中学校図書室で行われました。

なんやかんやと多忙な日々。しかもあいにくの雨。参加者の人数がどうなるか心配されましたが、新進気鋭の若い先生方が多数参加いただきました。中には市外の益城中よりはるばる来られた先生も。(あまりのうれしさに、おもわず涙ぐむM先生)

ベテランの脂っこい面々も、「若手に負けられん」とばかり、はりきっていました。

昨年度までのお楽しみ「パン&ジュース」も様変わり。「お茶&おつまみ」へさらに進化していました。

1 オープニング

市数研会長の稲津孝夫校長先生(湖東中)のあいさつにつづいて、今回参加いただいた先生方の自己紹介がありました。やる気に満ちあふれた雰囲気でした。



2 今年の市数研はこうなる

研究部長の桃崎先生（武蔵中）より提案がありました。

経営方針について

プレゼンテーションソフトを駆使して、聞く者の視覚にも訴えるものでした。

「授業研究を中心に」「現行カリキュラムの調査活動」「デジタルの活用」「小中高連携」の4つをキーワードに、来年度の県大会、そして3年後の九州大会にむけて取り組んでいこうというものでした。

今後生徒数の減少により、本会の活動費にも大きな影響が出るということが予想されるという説明もありました。

今年度の活動計画

今年は、来年度の県大会に向けての取り組みが中心となります。その中心となるのは、毎月第2木曜日の定例会です。

会場は藤園中学校の3F図書室です。どうぞお誘い合わせの上、どんどんご参加ください。

また、今年度の各研究大会の予定も確認されました。

評価のありかたについて

桃崎先生の昨年度の実践をもとに、数学の評価のしかたについて研修しました。

「評価規準」「評価基準」「観点別評価」「定期テスト」などをどう結びつけるか。

みなさんが日頃の実践で悩んでおられることではないでしょうか。

武蔵中学校では、評価に対する保護者の方の信頼がとても高いそうです。

IT活用について

これも桃崎先生の実践から、「多数回試行による確率」の授業実践の紹介がありました。サイコロの目の出る確率を、パソコン画面で疑似実験するソフトを利用した授業です。プロジェクタで紹介された画面をながめているだけで、興味がわいてきました。



小中連携について

小中連携を数学の教師の視点からどう捉えるか。来年度の県大会の大きな柱になる視点でもあり、先生方からも活発な意見が出ました。

「小中連携で何をめざすのか」「学力のとらえ方をどうするのか」「どのようなやり方が考えられるか」「研究大会の中で小中連携の中の何を見せるのか」これから議論を深めていくべきことが見えてきました。

桃崎先生の準備バッチリの提案で、研究のスタートはとても順調のようです。

また、若い先生の参加が多かったので、増村先生(江原中)から「次回からは授業の悩みや質問などを出してもらってみんなで議論するコーナーを設けよう」という意見が出されました。

「それはいい。それはいい。」と参加者全員大賛成。ということで、次回より「若手教師からの提言(仮題)」のコーナーがスタートします。 お楽しみに。

3 先生方へのインフォメーション

宮崎先生(藤園中)より、いくつか連絡、お願いがありました。

平成16年度の九数教大会(鹿児島)では「数学的な考え方」の領域で、

平成18年度の九数教大会(熊本)では「教育課程」の領域で、

熊本市の先生が実践を発表することになっています。

「我こそは!」と思われる先生、まずは市数研にご参加ください。

今年度の「数学の友」「数学基本カード」「単元別テスト」の各中学校での採用状況について紹介がありました。各学校とも採択いただきありがとうございました。これらの収入の一部が、県数研そして市数研の運営を支えています。

生徒数の減少にともなって、市数研の運営も影響を受けそうです。今後とも先生方のご協力、ご支援をお願いします。

今年度の算数・数学の研究大会について紹介がありました。

| | |
|---------------------|-----------|
| 九州中学校数学研究大会 (福岡市) | 7月29日・30日 |
| 県数研合宿研修会 (水前寺共済会館) | 8月7日・8日 |
| 熊本県中学校数学研究大会(松橋中学校) | 11月13日 |
| 熊本県算数教育夏期研修会(熊大附属小) | 8月1日 |

ご参加希望の先生は、藤園中学校の宮崎先生まで、お問い合わせください

4 エンディング

白熱した議論をしめくくっていただいたのは、高見校長先生(二岡中)です。 あっという間の2時間でした。

第1回目の定例会の様子を見ていて、これから市数研が、もっともっと魅力的な会になるような予感がありました。

あいにくの雨の中、参加いただいた先生方、おつかれさまでした。

今回はご参加できなかった先生方、次回はぜひともに語り合えることを楽しみにしています。

以上第1回の定例会報告です。



次回定例会のお知らせです

7月10日(木) 6時30分 藤園中学校 (3F 図書室)にて

< 予定している内容 >

ミニ講座「少人数指導の工夫」 増村 隆夫先生(花陵中)
今話題の「少人数」。「少人数指導」のポイントは？
少人数指導でお悩みのアナタに実践をもとにした、ためになる講座です。

「若手教師からの提言」(仮題) 越地 真人先生(帯山中)
山下 善央先生(龍田中)

フレッシュな2人の先生にお話しいただきます。
最新情報などが聞けるかもしれませんよ。

その他

・県大会授業希望者の確認、九数教大会参加希望確認、期末テスト問題交換
など
おいしい情報がメジロオシです。

多数の先生方のご参加をお願いします！！
各学校から1名、是非お願いします！

皆さんと共に歩む市数研です。

(文責：京陵中学校 出崎友

英)